

取組の概要

取組の概要 : 施設愛媛果試第28号の産地化の推進
 計画作成主体 : 松山市地域農業再生協議会
 対象品目 : かんきつ (愛媛果試第28号)
 (産地面積:49.4ha)
 主な取組主体 : えひめ中央農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 生産支援事業 (被覆資材等の導入)
 状況

ポイント

愛媛果試第28号は、果皮が薄く果皮障害による品質低下が課題となっていることから、POフィルム、果樹用反射マルチの導入による品質の向上及び栽培面積の拡大を図る取り組みを推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状 : H27年度〉

産地面積 : 34.44ha
 農業者数 : 222名
 販売額 : 274,865千円

〈目標 : H31年度〉

産地面積 : 49.44ha
 農業者数 : 222名
 販売額 : 394,580千円



推進体制

地域の関係者 (愛媛県中予地方局、松山市、えひめ中央農業協同組合) が連携して、技術指導、ブランド化推進の支援を行うことで、事業の推進を図る。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- POフィルム、反射マルチの導入により品質の向上及び栽培面積の拡大を図る。
- 高収益に繋がる「紅まどんな」ブランドのさらなる普及に向けたPR活動を展開する。

〈県・市町村単独事業〉

- 愛媛県単独事業及び松山市単独事業により雨よけハウス、灌水設備の整備を支援する。

事業効果

- 単位面積当たりの販売額が高い愛媛果試第28号 (地域の主要110品目中29位) の生産量等を拡大する。
- 生産量、販売額の増加により、愛媛果試第28号の産地形成を推進する。
- 生産量増加に伴いブランド化を推進する。

～愛媛果試第28号の販売額～

